

廃プラスチック 資源循環のこれからを 考えるセミナー

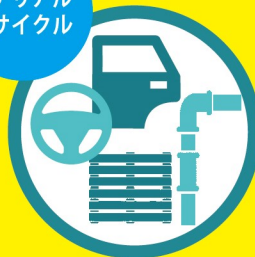
循環型社会の構築に向けた 事業者間の連携・協働を目指して

対象者

廃プラスチック類の排出事業者(京都市内) 15名程度
産業廃棄物処理業者及びリサイクル業者 15名程度

2022 **2/9** WEDNESDAY
14:00~17:00

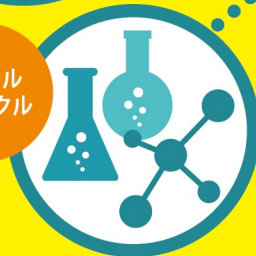
マテリアル
リサイクル



サーマル
リサイクル



ケミカル
リサイクル



最終処分
埋め立て

PLAST



オンライン
開催

参加費無料

*申込方法等は裏面を
ご参照ください。

海洋プラスチック問題をはじめ、プラスチックによる環境問題が世界的に注目される中、海外における廃プラスチックの輸入規制の影響や令和3年6月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の公布を受けて、国内での廃プラスチックの資源循環が急務となっています。

これらの動きを受けて、国内外でプラスチックの資源循環にかかる制度設計や実践が進むとともに、企業等による先進的な廃プラスチックのリサイクル関連技術の開発やビジネス展開に向けた実証事業の実施が行われるなど、市場拡大が急激に進んでいます。

廃プラスチックの資源循環を推進するためには、排出事業者、産業廃棄物処理業者・リサイクル事業者の双方が課題やニーズを認識したうえで、課題への対応や新たなリサイクル技術の開発などに連携して取り組むことが重要です。

今回のセミナーでは、プラスチック類の資源循環利用の最新動向や先進事例を紹介した上で、排出事業者の立場と排出事業者、産業廃棄物処理業者・リサイクル業者の立場の双方において、廃プラスチック類のリサイクルにかかる課題やニーズを洗い出し、廃プラスチックの資源循環を推進するための連携・協働のあり方について意見交換を行います。

ご関心のある方はぜひご参加ください。

主催：京都市環境政策局循環型社会推進部廃棄物指導課
問い合わせ先：セミナー事務局 /
株式会社ダン計画研究所内 Tel：06-6944-1173

プログラム

講演

「プラスチック類の資源循環利用の最新動向」

富田 斉 氏（一般社団法人プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長）

排出事業者、産業廃棄物処理業者等による 廃プラスチックの資源循環に関する取組事例紹介

「廃プラスチックガス化ケミカルリサイクルの 実践例と展望」

尾場瀬 崇裕 氏（日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創部
プログラムマネージャー）

「サプライチェーンとの協働による廃プラスチック分別・ 回収システムの紹介ーIoT を利用したシステムの構築ー」

三ツ松 昭彦 氏（株式会社島津製作所 環境経営統括室 マネージャー）

論点整理

「廃プラスチックの資源循環を推進するうえでの ポイント、課題とは(仮)」

申込時の質問をはじめとする質疑応答に加え、廃プラスチックの資源循環を推進するうえでのポイントや課題について、ご講演者それぞれの立場からお話しいたできます。

ワークショップ

「廃プラスチックの資源循環を推進するためには(仮)」

廃プラスチック類の資源循環の推進に向けて、排出事業者、産業廃棄物処理業者等の参加者にオンライン上で数名ずつのグループに分かれていただき、課題を共有しながら、連携・協働による課題解決の方向性や可能性について検討します。

廃プラスチック資源循環のこれからを考えるセミナー ー 循環型社会の構築に向けた事業者間の連携・協働を目指してー

2022年2月9日(水) 14:00 ~ 17:00

- 対象者**
- 廃プラスチック類の排出事業者(京都市内) 15名程度
 - 産業廃棄物処理業者及びリサイクル業者 15名程度
- ※全プログラム参加を前提といたします。(講演のみの参加はご遠慮ください)



使用ツール : Zoom

- ・ PCでご参加ください。
- ・ 専用アプリか、Webブラウザを使って利用します。
※専用アプリの場合: App Store や Google Play から Zoomアプリをダウンロードしてください。
※Webブラウザの場合: 推奨ブラウザは以下のとおりです。
*Windows OS: Microsoft edge、Google chrome / *Mac OS: Google chrome

【出演者プロフィール】

■ 富田 斉 氏 (一般社団法人プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長)

廃プラスチックの発生・循環的な利用及び処分状況の調査研究、環境負荷の評価手法等適正な利用を促進するための調査研究、プラスチックの循環的な利用に関する教育・学習支援並びに広報等を行う一般社団法人。全国各地から依頼を受けて、廃プラスチックに関する最新状況や今後の展望に関するセミナー講師を多数務めている。

富田氏は繊維メーカーを経て総合化学メーカーに転職、その間エンジニアリングプラスチック等の研究開発、品質保証などに携わった。2016年に同協会に出向。現在、プラスチック及び廃プラスチックの循環的な利用に関する教育・学習支援並びに広報を担当している。

■ 尾場瀬 崇裕 氏 (日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創部 プログラムマネージャー)

日揮ホールディングス株式会社は国内外で幅広い事業領域を対象とする総合エンジニアリング事業、およびオンリーワン技術が支える機能材製造事業を有する日揮グループの企業。高度なプロジェクト遂行力とエンジニアリング能力、および差別化されたライセンス技術の提供をコアに、バリューチェーンの協創による循環型社会・低炭素社会の実現に取り組んでいる。

尾場瀬氏は2007年に当時の日揮株式会社(現日揮ホールディングス株式会社)に入社。海外製油所建設プロジェクト、洋上LNG建設プロジェクト、国内CO2回収型火力発電所建設プロジェクト等にそれぞれ従事した後、2020年7月より現職。現在、世界で唯一長期商業運転実績を有するEUPのライセンスングおよび廃プラスチックガス化ケミカルリサイクル事業の創生を担当している。

■ 三ツ松 昭彦 氏 (株式会社島津製作所 環境経営統括室 マネージャー)

京都市内に本社を構える分析機器メーカー。京都府による「IoT・スマート産業廃棄物削減対策事業」に参画し、IoTセンサーで廃プラスチックの保管庫内の量を自動計測して一定量貯まると回収するシステムを、IT系企業や廃棄物処理業者とともに、運用方法や仕組みを検討し構築。現在、同社の3工場と協力会社等が排出する廃プラスチックを回収し、リサイクルを進めている。

三ツ松氏は1992年に同社入社。排水処理や発電プラント向け制御システムの販売や環境関連新規事業の立ち上げにそれぞれ従事した後、2009年4月より現職。現在、同社のサーキュラー・エコノミー戦略の立案などを担当している。

お申し込み方法 (締切 1月21日(金)まで)

下記のホームページアドレスもしくはQRコードより申込フォームへ進み、必要事項を記入してください。(参加者名、企業・団体名、メールアドレスなど)

<https://dan-dan.com/kyoto-recycle2022/>



主催: 京都市環境政策局循環型社会推進部廃棄物指導課

問合先・申込先 セミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内)
TEL 06-6944-1173 E-Mail kyoto.plastic-recycling@dan-dan.com

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。